



# 国際出産イニシアティブ

## 安全で母子&家族を尊重したケアを実現するための12のステップ (要旨版)

- 1 **すべての女性と赤ちゃんに、共感的で、尊敬と尊厳をもった態度で接しましょう。** 身体的、言語的、情緒的な虐待があってはいけません。一人ひとりの女性の習慣、価値観、自己表現する権利、インフォームド・チョイス (十分に情報提供を受けたうえでの選択) の権利、プライバシーが守られる権利を尊重し、個々の文化を十分に配慮したケアを提供しましょう。
- 2 **妊娠・出産・産後の時期すべてを通して、差別がなく、無料あるいは少なくとも支払い可能な額のケアを受ける権利がすべての女性にあることを尊重しましょう。** どんな状況であっても、未払いという理由で母子のケアの提供を拒否したり、産後に身柄を拘束してはいけません。
- 3 **助産の実践および哲学を統合した母子と家族のための妊産婦ケアモデル\*** を常用的に提供しましょう。これは、医療レベルや場の違いにかかわらず、あらゆる医療専門家により実践可能です。(※訳注: モデルとは一連のケアの方法を指します。)
- 4 **出産中を通して産婦が継続的な支援を受けられる権利を認めましょう。** 継続的な支援の利点を母親に説明しましょう。産婦本人が選んだ担当医療者および付き添い者からそのような支援を受けられることを保証しましょう。
- 5 **陣痛中に薬を使わずに安楽に過ごす方法や痛みを和らげるための方法を、安全な第一選択として提供しましょう。** 薬による産痛緩和法が利用可能で、産婦が使用を希望する場合には、その利点とリスクを説明しましょう。
- 6 **妊娠・出産・産後の時期すべてを通して、科学的根拠に基づく、母子と家族に有益なケアを提供しましょう。**
- 7 **日常的あるいは頻繁に用いた場合に利点がリスクを上回るという科学的根拠が十分になく、害をもたらす可能性があるような処置や実践は、正常な妊娠・出産・産後の経過にある母子におこなわないようにしましょう。**
- 8 **健康増進と疾病予防のための様々な方法を実施しましょう。** 例えば、栄養改善、清潔な水、衛生管理、家族計画、病気や合併症の予防、産前産後の教育などを、母子や家族に提供しましょう。
- 9 **必要時には、産科、新生児科、救急の適切な治療を提供しましょう。** 危険な状態や合併症 (およびその可能性) を見きわめる方法、効果的な治療法や病状を安定させる方法について、スタッフは訓練を受けましょう。スタッフから専門家への相談経路と、安全で効果的な搬送システムを確立しておきましょう。
- 10 **支援的な人材管理方針を備えましょう。** 熱心なスタッフをリクルートし保持するための指針を万端にし、スタッフが安全で、安心でき、尊重される環境で働くことを保証しましょう。良い労働環境を備えたうえで、スタッフが良質で連携的で個別的なケアを確実に母児に提供できるようにしましょう。
- 11 **職種間連携をとりながらケアを提供しましょう。** あらゆる医療レベル間でコミュニケーション、相談、搬送がうまくいくような計画および実行のための後方支援を確立し、すべての関連する医療従事者、施設、組織で協調的なケアを提供しましょう。
- 12 **2018年に更新された新「赤ちゃんに優しい病院戦略 (『母乳育児がうまくいくための10のステップ』\*)」を達成しましょう。** 妊産婦ケアを提供する施設では、母乳育児を保護し、促進し、支援しましょう。(※訳注: NPO法人日本ラクテーション・コンサルタント協会による翻訳版)